

住民の安心と安全を守る消防団

●日野町消防団入退団（昇任）式
が開催されました

4月1日（日）、林業センターで平成19年度日野町消防団入退団（昇任）式が行われました。吉澤郁一団長から、退団者32名、入団者32名、昇任者7名への辞令交付に続き、町長の式辞、団長の訓示が厳粛に執り行われました。

新入団員を代表し、第3分団第4班安井稔幸さんが「良心に従って忠実に消防の義務を遂行することを誓います」と力強く宣誓されました。

消防団員の皆さんには、いつ起こるか分からない災害から、地域住民の生命や暮らしを守るために、昼夜問わず活躍していただいています。



消防団ってなに？

消防団とは、「自らの地域は自ら守る」という自主防災の精神に基づき組織された市町村の消防機関です。火災をはじめとするあらゆる災害から住民の生命、身体、財産を守るため活躍されています。

消防団と消防署は、災害から住民を守るという任務の下で活動する点は同じです。大きく異なる点として、消防団員は普段は他に職業を持ちながら、各種の防災活動に従事していることです。また、地域住民を主体に組織され、地元の情報等に精通した地域密着型の組織といえます。

消防団の活動

大切な任務を背負った消防団の活動は、大きく災害時と平常時に分けることができます。

災害時の活動

- ★火災発生時の消火活動・鎮火後の残火処理など。
- ★風水害時の警戒活動（危険箇所の見回りなど）。
- ★地震などの大規模災害発生時における救助活動など。

★行方不明者の搜索、人命救助、災害時の避難誘導など。

平常時の活動

★消火訓練：消防団員の最も基本的な任務です。さまざまな場面を想定した消火訓練の実施。

★火災予防活動：火災予防の巡回広報や住宅の防火診断などの啓発活動。

★応急手当などの訓練：災害時などに目の前の負傷者を救助するための技術の習得。

★機械器具などの点検：消防車や小型動力ポンプなどの消火器具の点検や取扱いの訓練。地域の消火設備（消火栓や防火水槽）の点検。



住民の安心・安全なくらいが守られるよう地域の中で、地域のために活動されている消防団を、住民みんなで支え合っていきましょう。

◆総務課 総務担当

☎6500 有線⑤7762

現役消防団員さんからの

メッセージ

私は、日野町消防団第1分団の8年目の団員です。安心して暮らせるまちを願っています。近年、全国的に消防団員数は減少しています。そして、私の所属する日野詰所でも後継者が見つからず、退団する団員が増えており、今後日野町消防団においても存続が危ぶまれています。

▼団員が各区から選出されている日野地区では、退団を予定している団員が、時には区長さんの力も借りて、入団してもらえそうな人に声をかけるのですが、入団する人がいなかった場合、「もう、当区から団員になる人がいない」ということが起きています。▼入団を見送る原因は様々ですが、「消防団の誘いは断ることができない」という風潮を容認していくと、『自分たちのまちは自分たちで守る』という意識の低下にもつながります。

みんながそれを容認してしまっていますが、私たちのなかには防災意識の低さを厳しく振り返らなければならぬと思います。▼みんなが防災意識を向上させ、消防団活動で得ることのできる貴重な経験も理解され、「体調面で不安はあるけど、できることをやろう」「仕事は忙しいけど、活動できる時はがんばろう」と快く引き受けていただきたいと心から願っています。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いします。